

1

2

3

4 Prioris LX Server シリーズ

5 セットアップガイド

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

μS日本デジタルイクイップメント株式会社
Version 1.0

セットアップの流れ

Prioris LX Server シリーズのセットアップは、次の手順でおこないます。

セットアップをはじめる前に
オプション製品の取り付け
システムコンフィギュレーション
SCSI コントローラの設定
OS のインストール

1. セットアップをはじめる前に

ここでは設定例として、Prioris LX Server に Narrow SCSI ハードディスクおよびバックアップ用テープ装置として DAT を装着する場合について説明します。

必要な追加オプション

Narrow SCSI ハードディスク (FR-PCXAR-AE) 必要数

テープ装置 DAT SDT-5000 (FR-PCXAT-AF) x1

その他、メモリなど 必要数

空きのフロッピーディスク x3

Getting Started プログラムについて

ハードディスクや DAT、メモリ等のオプション製品を装着するまえに、必ず Getting Started プログラムを起動してドライバディスクを作成してください。このドライバディスクは NetWare または Windows NT Server をインストールするときに必要になります。

次の手順で Getting Started プログラムを起動してドライバディスクを作成してください。

1. 次のラベルのフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入してください。このときフロッピーディスクのライトプロテクトは無効にしておいてください。

2. 「**Prioris LX Server Startup/Utility Diskette Prioris LX Getting Started**」

41

次のラベルの CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入してください。

「Prioris LX Server Utilities Getting Started」

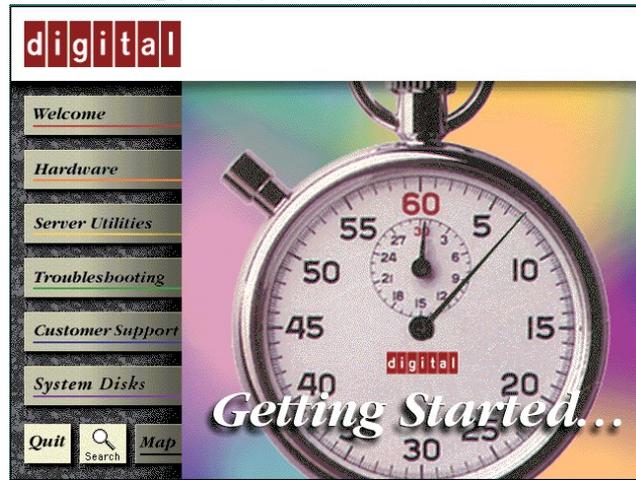
システムを起動して言語選択の画面が表示されたら、1. English を選択して <Enter> キーを押してください。

41.1 しばらくしてビデオボードの選択画面が表示されたら、<1> キーを押して **1. On Board Video** を選択してください。

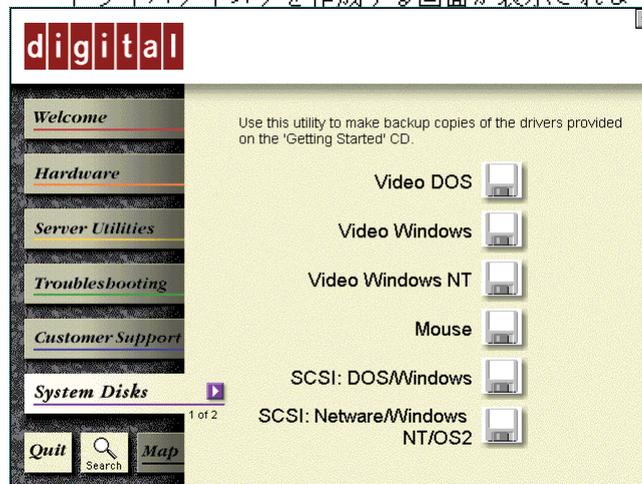
41.2

- Setup の画面が表示されたら、Country の項目で Japan を選択して OK ボタンをクリックしてください。Language および CD-ROM の項目は、それぞれ English および R のままにしておいてください。
-

Getting Started プログラムのメインメニューが表示されたら、System Disks をクリックしてください。



ドライバディスクを作成する画面が表示されます。



ボタンをクリックすると次のような画面表示になります。



各項目のフロッピーディスクアイコン をクリックした後、空のフロッピーディスクを挿入して OK スイッチをクリックするとドライバディスクが作成されます。NetWare および Windows NT Server をインストールするために必要なドライバは次のものです。その他のドライバディスクを作成する必要はありません。また、Windows NT Server で使用する Video ドライバは、Windows NT Server に付属のものを使用してください。

- SCSI:DOS/Windows
- ラベル:Prioris LX Series
- Adaptec 7800 Family Manager Set for
- DOS/Windows/EZ-SCSI Utility
- DOS"a:\install" Windows"a:\setup"
- Copyright 1995 Adaptec Inc.
- All Rights Reserved
- SCSI:NetWare/Windows NT/OS2
 - ラベル:Prioris LX Series
 - Adaptec 7800 Family Manager Set for
 - NetWare/Windows NT/OS2
 - Copyright 1995 Adaptec Inc.
 - All Rights Reserved
 - Ethernet
 - ラベル:Prioris LX Series
 - EtherWORKS TURBO PCI Family Drivers
 - Copyright 1995 Digital Equipment Corp.
 - All Rights Reserved
 - 作成した各ドライバディスクには、上記のようなラベルを記入してください。
 - ドライバの作成が終了したら、アイコンをクリックしてください。英語版の Windows のファイルマネージャがアイコン表示されます。
 -
 - 作成したドライバディスクのうち、次のフロッピーディスクをフロッピードライブに挿入してファイルマネージャを起動します。
 - Prioris LX Series
 - EtherWORKS TURBO PCI Family Drivers
 - Copyright 1995 Digital Equipment Corp.
 - All Rights Reserved
 - ファイルマネージャで次のファイルをフロッピーディスクのルートディレクトリにコピーしてください。この作業を行っていないと、Windows NT Server をインストールする時に内蔵の Ethernet コントローラのドライバがインストールできません。
A:\ndis3\wnt35\dc21x4.sys
 - 以上で、ドライバディスクの作成は終了です。フロッピーディスクを取り出して電源を OFF にしてください。作成したフロッピーディスクはすべてライトプロテクトスイッチを有効に設定してください。
 -

- 2.オプション製品の装着
- オプション製品を装着する前に
Prioris LX Server にオプション製品を装着する時には以下の点に注意してください。

本体サイドパネルを開けて作業する時には、必ず電源を OFF にして AC 電源コードを抜いてください。Prioris LX Server は、電源を OFF にした状態でもマザーボードに電源が供給されています。また、帯電防止用リストバンドの着用をおすすめします。

「Digital Prioris LX Server ユーザーズマニュアル」および各オプション製品に同梱されている取扱説明書も参照しながら設定を行ってください。

- ハードディスクの設定と装着
- ハードディスクを装着する時には、以下の点に注意してください。

装着するハードディスクが 1 台の場合には、SCSI ID を 0 に設定してください。複数のハードディスクを装着する場合には、各ハードディスクに SCSI ID 0~5 を順番に割り当ててください。SCSI ID 6,7 は、CD-ROM ドライブと内蔵の SCSI コントローラが使用していますので使用できません。

ハードディスク上の SCSI バスターミネータの設定を無効に設定してください。内蔵の SCSI コントローラと内蔵の SCSI ケーブルの終端に SCSI バスターミネータが装備されていますので、ハードディスクのターミネータは無効に設定する必要があります。ハードディスクを Prioris LX Server に装着して、電源ケーブルと SCSI ケーブルを接続してください。

- DAT の設定と装着
- DAT を設定/装着する時には、以下の点に注意してください。

SCSI ID を他の SCSI 装置と衝突しないように設定してください。通常 SCSI ID 5 に設定します。

- DAT 上の SCSI バスターミネータの設定を無効に設定してください。内蔵の SCSI コントローラと内蔵の SCSI ケーブルの終端に SCSI BUS ターミネータが装備されていますので、DAT のターミネータは無効に設定する必要があります。
- DAT でデータの圧縮をするかどうかの設定(Compression)を、必要に応じて有効(Enabled)または無効(Disabled)に設定してください。
DAT を Prioris LX Server に装着して、電源ケーブルと SCSI ケーブルを接続してください。

- メモリを増設する場合

メモリを増設する時には、以下の点に注意してください。

- メモリを増設する場合には、各 SIMM ソケットに決められた構成で SIMM メモリを増設する必要があります。メモリの構成については、「Digital Prioris LX Server ユーザーズマニュアル」を参照してください。また、ECC メモリとパリティメモリを混在して装着することはできません。

メモリの増設または取り外しをした場合には、必ず SCU(システムコンフィギュレーションユーティリティ)を起動してメモリを認識していることを確認し、設定内容を保存してください。

41.3

- Serial Port 2 ... Enabled at: 2F8h-2FFh(IRQ3)
-
- Parallel Port Group
- Parallel Port ... Bi-Directional Mode ----> 378h-37Ah,IRQ7
-

Video Options Group

Video Type ... VGA or EGA

Shadow Options Group

Shadow Video BIOS ROM ... Enabled

Shadow C8000h-CBFFFh		... Disabled
Shadow CC000h-CFFFFh	...	Disabled
Shadow D0000h-D3FFFh	...	Disabled
Shadow D4000h-D7FFFh	...	Disabled
Shadow D8000h-DBFFFh	...	Disabled
Shadow DC000h-DFFFFh	...	Disabled
Security Options Group		
Supervisor Password	...	Not Installed
Password on boot	...	Disabled
Diskette access	...	User
Fixed disk boot sector	...	Nomal
Network Server	...	Disabled
System backup reminder	...	Disabled
Virus check reminder	...	Disabled
Cache Options Group		
Internal Cache	...	Enabled
External Cache	...	Enabled
Cache System BIOS ROM	...	Enabled
Cache Video ROM	...	Enabled
Power Management Options Group		
Power Savings	...	Disabled
Monitor Suspend Timer	...	Disabled
Monitor Off Timer	...	Disabled
Reserved System Resources ... Configuration file and overlay		
Version V1.00		
Mouse Port	...	Enabled
Hardware Monitor	...	Disabled
PCI Arbiter Priority	...	System Default
Integrated SCSI Device Group		
Enable Device	...	Enabled
PCI Interrupt	... One IRQ required	----> IRQ11 (<F6>キーで変更可)
Use Default Latency Timer Value...	No	
Latency Timer Value	...	40h
Integrated Network Device Group		
Enable Device	...	Enabled
PCI Interrupt	... One IRQ required	----> IRQ5 (<F6>キーで変更可)
Use Default Latency Timer Value...	No	
Latency Timer Value	...	40h
PCI Slot 1 Options Group		
Enable Device	...	Disabled
PCI Interrupt	...	Not Installed
Use Default Latency Timer Value...	No	
Latency Timer Value	...	40h
PCI Slot 2 Options Group		
Enable Device	...	Disabled
PCI Interrupt	...	Not Installed
Use Default Latency Timer Value...	No	

Latency Timer Value ... 40h

PCI Slot 3 Options Group

Enable Device ... Disabled

PCI Interrupt ... Not Installed

Use Default Latency Timer Value... No

Latency Timer Value ... 40h

CL-GD5428 VGA graphics Controller

CL-GD5428 VGA Accelerator ... Graphics: Color and Mono

4.SCSIコントローラの設定

システムコンフィグレーションが終了したら、内蔵 SCSI コントローラ (AIC-7850) の SCSISelect の設定をおこないます。SCSISelect は、起動時に SCSI コントローラの BIOS が表示されているときに、<Ctrl><A>キーを押すと起動します。

SCSISelect 設定例

Adaptec AIC7850 < SCSISelect(TM) > Utility v1.11

AIC-7850 at Bus:Device 00:01h
Configuration
SCSI Channel Interface Definitions
Host Adapter SCSI ID..... 7
SCSI Parity Checking..... Enabled
Host Adapter SCSI Termination..... Enabled

Additional Options

SCSI Device Configuration..... Press <Enter>
Advanced Configuration Options..... Press <Enter>

<F6> - Reset to Host Adapter Defaults

SCSI Device Configuration

SCSI Device ID	#0	#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7
Initiate Sync Negotiation...	yes							
Maximum Sync Transfer Rate..	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
Enable Disconnection.....	yes							
----- Options Listed Below Have NO EFFECT if the BIOS is Disabled -----								
Send Start Unit Command.....	no							
Include in BIOS Scan.....	yes							

Advanced Configuration Options

Reset SCSI Bus at IC Initialization.....Enabled
----- Options Listed Below Have NO EFFECT if the BIOS is Disabled -----
Host Adapter BIOS (Configuration Utility Reserves BIOS Space).Enabled
Support Removable Disks Under BIOS as Fixed Disks.....Disabled *
Extended BIOS Translation for DOS Drives > 1GByte.....Disabled *
BIOS Support for More Than 2 Drives (MS-DOS(R) 5.0 and above).Disabled *

* 必ず「Disabled」に設定してください。

5.OSのインストール

ご使用になる OS にあわせて、「Prioris LX Server シリーズ Windows NT Server インストールガイド」、「Prioris LX Server シリーズ NetWare インストールガイド」および、各 OS に付属の取り扱い説明書をごらんになって、インストールしてください。